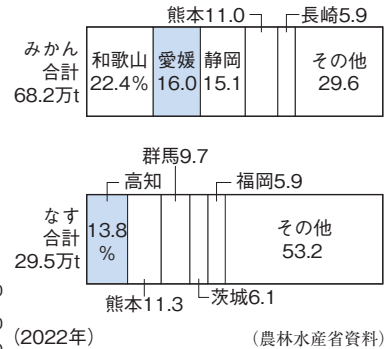
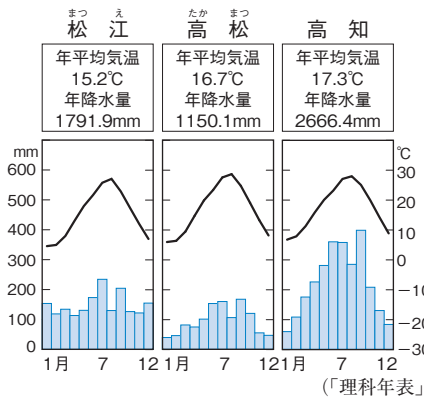




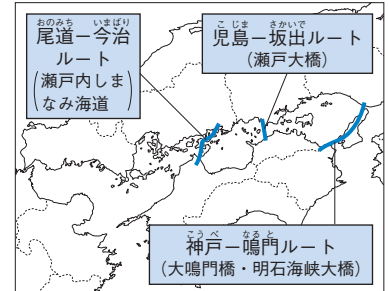
▲A中国・四国地方の姿

▲B中国・四国地方各地の雨温図

1 中国・四国地方の自然環境 (図表のワーク①～⑥) 教科書 P.188～189

(1) 三つの地域…瀬戸内海をはさんで中国山地と四国山地が連なる。

- ① 山陰…鳥取砂丘は砂浜海岸。季節風の影響で冬の降水量が多い。過疎化。
日本海側の地域
- ② 瀬戸内…南北の山地が季節風をさえぎり、1年を通じて降水量が少なく温暖。太平洋ベルトの一部で人口や産業が集中。本州四国連絡橋が整備。
瀬戸内海沿岸
- ③ 南四国…日本海流(黒潮)の影響で1年中温暖。過疎化が進む。
太平洋側の地域



▲D本州四国連絡橋

2 交通網の整備と人々の生活 (図表のワーク⑦～⑩) 教科書 P.192・193

- (1) 中国地方…山陽新幹線や中国自動車道、山陽自動車道などの高速交通網が東西にのびる。
過疎化対策
- (2) 四国地方…本州四国連絡橋で本州と結びつくが、人口の流出、商業の衰退、旅客船やフェリーの廃止など。

3 結びつきを生かした工業 (図表のワーク⑪～⑭) 教科書 P.194・195

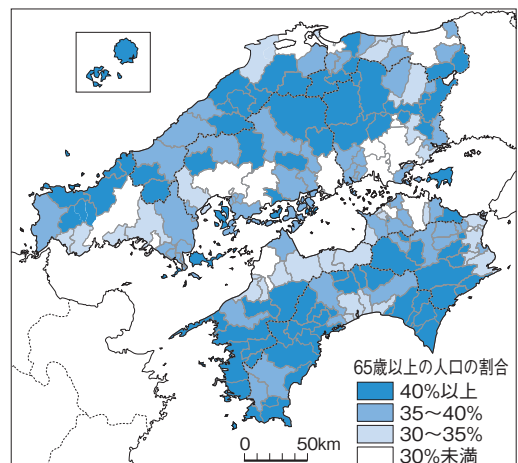
- (1) 人口が集中する瀬戸内…広島市、岡山市は政令指定都市で過密地域。広島市は地方中枢都市で1945年に原子爆弾の被害。瀬戸内工業地域で重化学工業が発展。石油化学コンビナートに関連工場が集まり、化学製品を効率よく生産。鉄鋼、造船、自動車、製紙などもさかん。
倉敷市、周南市、徳山、岩国市など
- (2) 工業の変化と交通網…中国や韓国との競争により、鉄鋼、造船業などが先端技術(ハイテク)産業へ多角化。
エネルギー、環境、バイオ、エレクトロニクスなど
工業団地で機械・薬品などの工場が増加。食品、出版、通信販売の会社の物流センターが進出。
輸送に便利な高速道路沿いに整備

4 交通・通信を生かした農業・漁業 (図表のワーク⑮～⑲) 教科書 P.196・197

- (1) 農業…瀬戸内では果樹栽培がさかん。南四国ではピーマンやなすなどの促成栽培による園芸農業がさかん。
愛媛県のみかん、岡山県のもも、ぶどう
- (2) 農産物・水産物の輸送…瀬戸内ではぶりやたい、かきなどの養殖業。南四国ではかつお、山陰ではかにやいかを漁獲する沖合漁業。保冷トラックや航空機を利用して大消費地に出荷。
- (3) 産地間競争…地域ブランド化をはかり、競争力を高める。上勝町は、「つまもの」の商品化による地域活性化の取り組みが注目。

5 交通・通信を生かした地域活性化 (図表のワーク⑳・㉑) 教科書 P.198・199

- (1) 過疎地域…山間部や山陰、南四国では高齢化や人口減少により、過疎化が進んでいる。徳島県神山町は、大容量の情報通信網を整備したことで、情報通信技術(ICT)関連の企業が多く進出。
- (2) 地域活性化の取り組み…エコツーリズムや山村留学制度など→UターンやIターンによる移住者が増加。ふるさと納税の活用。
各地の県・市町村に寄付し、住民税の減額や返礼品などを受ける

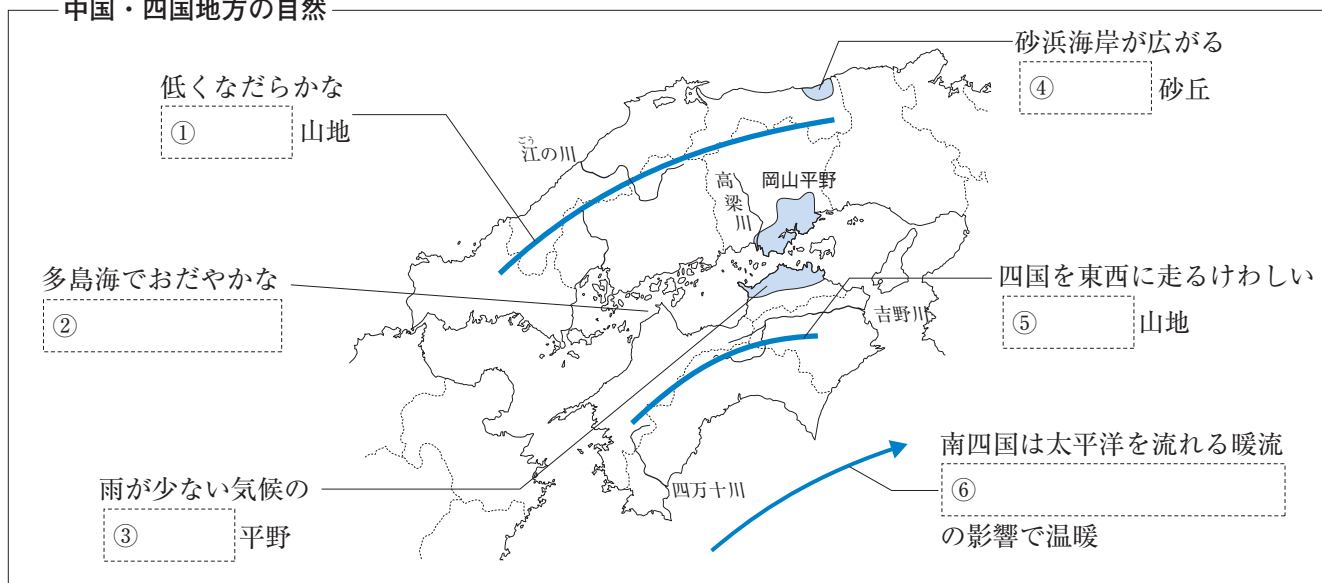


▲E中国・四国地方の市町村別高齢化率

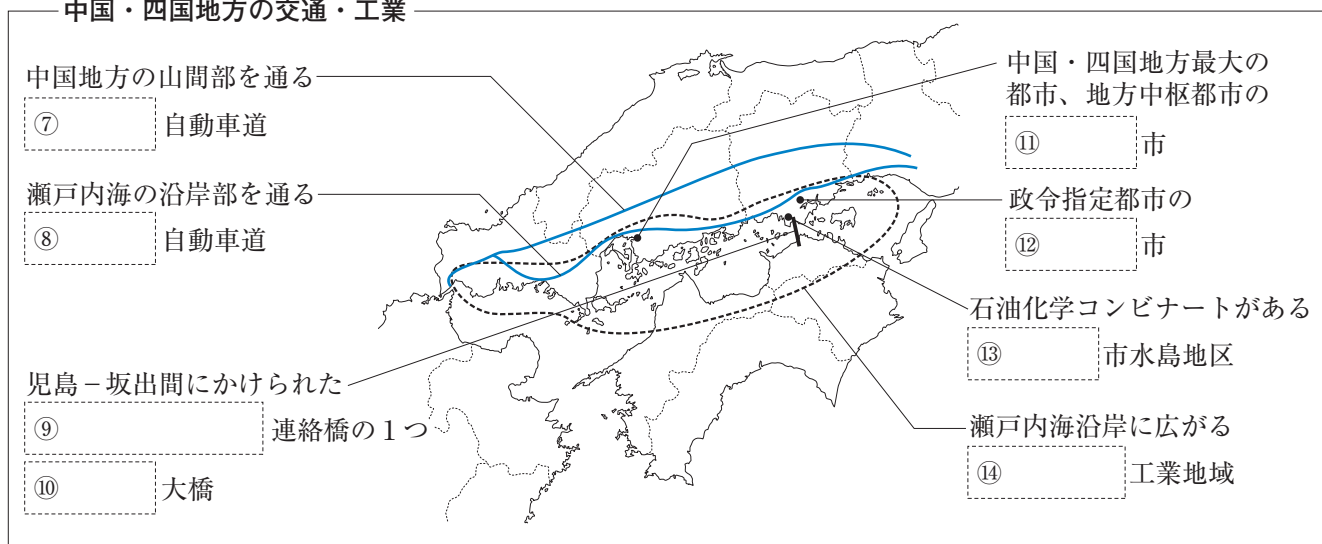
☒ 図表のワーク

学習のまとめを見て
図表を完成させよう

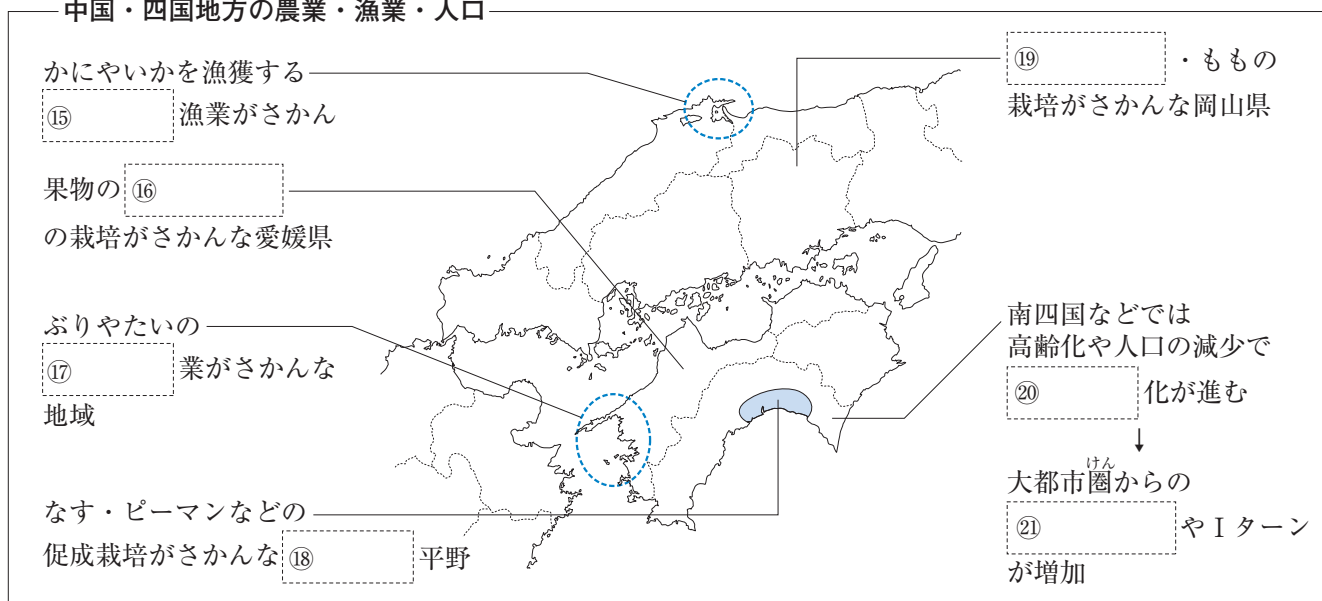
中国・四国地方の自然



中国・四国地方の交通・工業



中国・四国地方の農業・漁業・人口



確認問題

→類題演習 P.115

① 中国・四国地方の自然環境 次の文中の〔 〕に最も適する語句を選んで答えなさい。

- (1) 中国地方と四国地方の間にある海は〔瀬戸内海 日本海〕である。 ()
- (2) 山陰と瀬戸内をへだてる山地は〔中国山地 四国山地〕である。 ()
- (3) 冬の降水量が多いのは〔南四国 山陰〕である。 ()
- (4) 瀬戸内は、1年を通じて降水量が①〔多く 少なく〕、②〔冷涼 温暖〕である。
①() ②()
- (5) 南四国の気候には、〔対馬海流 日本海流(黒潮)〕が影響をあたえている。 ()

② 交通網の整備と人々の生活 次の問いに答えなさい。

- (1) 中国地方の内陸部を東西に走る高速道路を何というか。 ()
- (2) 中国地方の沿岸部を東西に走る高速道路を何というか。 ()
- (3) 四国地方と本州を結ぶ3つのルートに合わせて何というか。 ()
- (4) (3)のルートの1つで、岡山県と香川県を結ぶ橋を何というか。 ()

③ 結びつきを生かした工業 次の文中の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 広島市と岡山市は、〔 〕都市に指定されており、過密地域となっている。 ()
- (2) 広島市は、中国・四国地方の中心となる〔 〕都市である。 ()
- (3) 倉敷市や周南市には、石油化学〔 〕がつくられている。 ()
- (4) 近年は輸送に便利な高速道路沿いに〔 〕が整備され、機械や薬品などの工場が増加している。
()

④ 交通・通信を生かした農業・漁業 次の問いに答えなさい。

- (1) 愛媛県が和歌山県に次いで生産量の多い果物は何か。 ()
- (2) 岡山県で栽培がさかんな果物は、ぶどうと何か。 ()
- (3) 南四国でさかんな、大消費地向けに野菜や花などを栽培する農業を何というか。 ()
- (4) 高知平野で行われている、農作物の出荷時期を早める栽培方法を何というか。 ()
- (5) ぶりやたいの養殖業がさかんな県はどこか。 ()
- (6) 南四国でかつお、山陰でかにやいかを漁獲する、10t以上の船を使って数日が行う漁業を何というか。
()

⑤ 交通・通信を生かした地域活性化 次の文中の〔 〕にあてはまる語句を答えなさい。

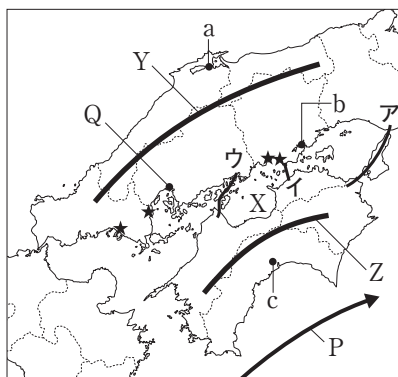
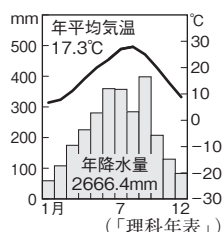
- (1) 山陰や南四国では、高齢化や人口減少の影響で、〔 〕化が進んでいる。 ()
- (2) 徳島県神山町では、大容量の情報通信網を整備したことで、東京などの〔 〕関連の企業が多く進出している。
()
- (3) 地域活性化が進み、大都市圏に移動した人が戻って来る〔①〕や、大都市圏の出身者が大都市圏以外の地域に移住する〔②〕の動きが見られる地域もある。 ①() ②()
- (4) 各地の県・市町村に寄付をすると、住民税の減額や県・市町村からの返礼品などを受け取ることができる制度を〔 〕という。 ()

練習問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) Xの海の名前を答えなさい。
 □(2) YとZの山地の名前をそれぞれ答えなさい。
 □(3) 右の雨温図は、地図中のa～cの都市のい

ずれかのものである。あ
 てはまる都市を選び、記
 号で答えなさい。また、
 Pの海流の名前を答えな
 さい。



- (4) 本州と四国を結ぶ本州四国連絡橋のうち、次の①～③にあてはまるルートを、
 地図中のア～ウからそれぞれ選び、記号で答えなさい。
 ① おのみち いまぼり 尾道－今治ルート ② こうべ なると 神戸－鳴門ルート ③ こじま さかいで 児島－坂出ルート
 □(5) 地図中の★には、化学製品を効率よく生産するための関連工場が集まっている
 工場群が形成されている。このような工場群を何というか、答えなさい。
 □(6) 地図中のQの都市の周辺でさかんな工業を次から選び、記号で答えなさい。
 ア 鉄鋼 イ 造船 ウ 自動車 エ 製紙

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中国・四国地方では、山陰・瀬戸内・南四国でさかんな農業が異なる。瀬戸
 内では①みかんや②もも、ぶどう、南四国では、X平野を中心にピーマン
 やなすなどのY栽培が行われている。海に面した地域では、養殖業や③沖
 合漁業がさかんに行われている。

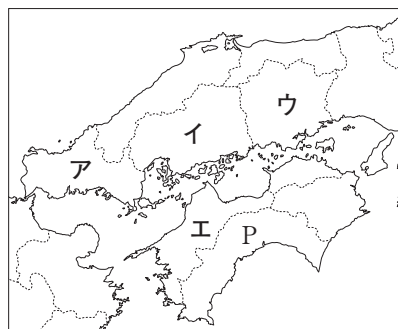
交通網が整備されたことで、人やものの移動が便利になったいっぽうで、山
 陰や南四国などでは④様々な問題が生じている。この問題を解決するために、
 ⑤地域活性化の取り組みが各地で行われている。

- (1) X・Yにあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

- (2) 下線部①・②の生産がさかんな県を、右の
 地図中のア～エから選び、記号で答えなさい。

- (3) 下線部③について、地図中のPの県で、沖
 合漁業によりさかんに漁獲されているものを
 次から選び、記号で答えなさい。

ア かき イ かに ウ ぶり
 エ かつお オ たい



- (4) 下線部④にあてはまる問題を、次から2つ選び、記号で答えなさい。

ア 高齢化 イ 交通渋滞 ウ じばんちん か 地盤沈下 エ か そ 過疎化

- (5) 下線部⑤のうち、自然環境を体験しながら、環境保全についても関心・責任を
 もつ観光のことを何というか。

1 学習のまとめ ①～③

(1) _____

(2) Y _____

Z _____

(3) 都市 _____

P _____

(4) ① _____

② _____

③ _____

(5) _____

(6) _____

2 学習のまとめ ④・⑤

(1) X _____

Y _____

(2) ① _____

② _____

(3) _____

(4) _____

(5) _____

Key プラス

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中国・四国地方の人口は、太平洋ベルトの一部である①瀬戸内に集中しており、②山陰や南四国では高齢化や人口減少の影響で(X)化が進んでいる。四国地方では、③本州四国連絡橋が開通したことで、本州との交通がさかんになった。移動時間が大はばに短縮されたいっぽうで、④様々な問題も生じている。このような問題に対し、(Y)化の取り組みが各地で行われている。たとえば⑤徳島県神山町では、地域の利点を生かした取り組みを進めたことで、情報通信技術(ICT)の関連企業が多く進出した。ほかにもエコツーリズムを進めている地域や、⑥移住者の増加により活性化した地域もある。

- (1) 文章中の() X・Y にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。
- (2) 下線部①について、次の①・②にあてはまる都市を、あとの〔 〕からそれぞれ選んで答えなさい。
- ① 石油化学コンビナートが形成され、また、鉄鋼業もさかんである。
- ② 中国・四国地方の地方中枢都市で、かつては原子爆弾の被害を受けた。
- 〔 今治市 広島市 岩国市 福山市 岡山市 倉敷市 〕
- (3) 下線部③について述べた文を、次から選び、記号で答えなさい。
- ア 冬の降水量が多い。 イ かつおの沖合漁業がさかんである。
- ウ 促成栽培がさかんである。 エ 日本海流(黒潮)の影響で温暖である。
- (4) 下線部④について、次の問いに答えなさい。

□① 本州四国連絡橋の1つで、岡山県と香川県を結ぶ橋を何というか。

□② 資料は、大阪の市場での四

国地方の農産物・水産物の取り引き割合などを示している。資料から読み取れる、本州四国連絡橋が開通したことによる変化を、簡単に答えなさい。

- (5) 下線部④にあてはまるものを、次から選び、記号で答えなさい。

ア 大都市へ通勤・通学する人が減った。

イ 旅客船やフェリーの廃止が相次いだ。

ウ 機械や薬品などの工場が減少した。

- (6) 下線部⑤について、徳島県神山町に情報通信技術(ICT)の関連企業が多く進出した理由を、「情報通信網」の語句を用いて、簡単に答えなさい。

- (7) 下線部⑥について、次の文中の□ A・B にあてはまる語句を答えなさい。

近年、大都市圏に移住した人が出身地に戻る□ A や、大都市圏出身者が、大都市圏以外に移住する□ B が各地で増えている。

1 の答え

(1) X 化

Y 化

(2) ①

②

(3)

(4) ①

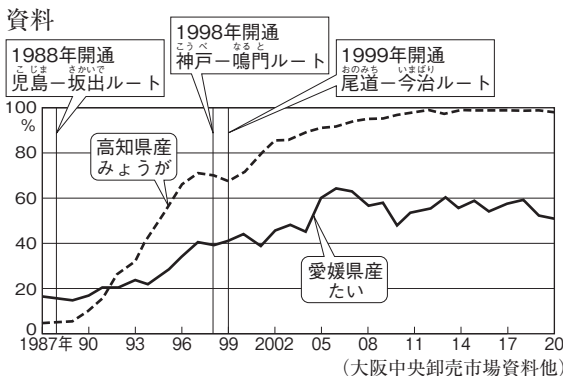
②

(5)

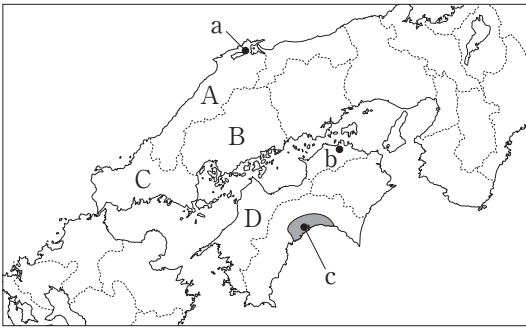
(6)

(7) A

B



1 左の地図や資料を見て、問いに答えなさい。

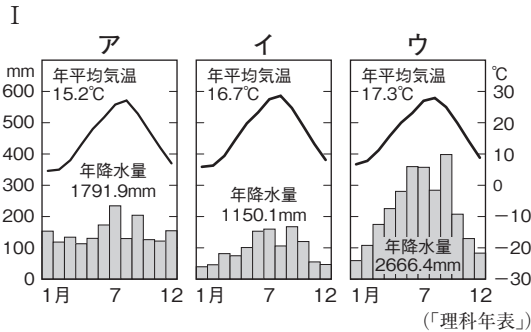


- (1) 資料Ⅰは、地図中の a～c の都市の雨温図である。b の都市の雨温図をア～ウから選び、記号で答えなさい。また、その都市を選んだ理由を、次の 3 つの語句を用いて答えなさい。

[中国山地 季節風 四国山地]

□記号()

□理由()



- (2) 地図中の  の平野でさかんな促成栽培とはどのような栽培方法か、「出荷時期」の語句を用いて、簡単に答えなさい。

□()

- (3) 資料Ⅱは、地図中の A～D の県の面積・人口・製造品出荷額・農業産出額・果実産出額について示している。B 県と D 県にあ

Ⅱ

	面積 (km ²)	人口 (千人)	製造品出荷額 (億円)	農業産出額 (億円)	果実産出額 (億円)
ア	8479	2760	99439	1213	161
イ	6113	1313	66501	643	52
ウ	5676	1306	47582	1244	553
エ	6708	658	12866	611	43

(面積、人口は2022年、その他は2021年)

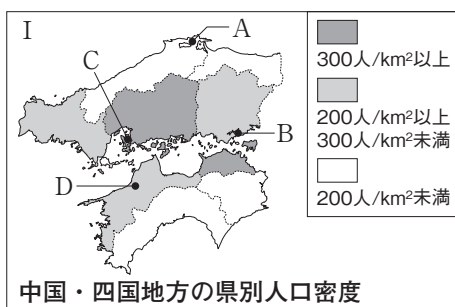
(2024年版「データでみる県勢」)

てはまるものを、資料Ⅱ中のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□B 県()

□D 県()

2 左の資料を見て、問いに答えなさい。



(2022年)

(2024年版「データでみる県勢」)

- (1) 資料Ⅰ中の A～D のうち、政令指定都市を 2 つ選び、記号で答えなさい。また、その都市名をそれぞれ答えなさい。

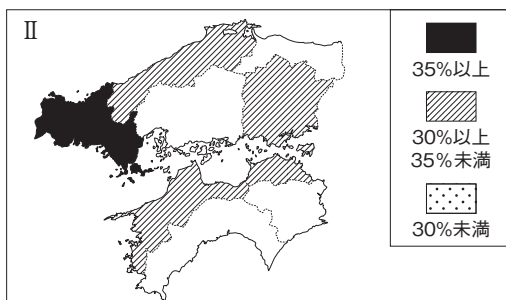
□記号() □都市名()

□記号() □都市名()

- (2) 資料Ⅰ中の県のうち、人口密度が 300 人/km² 以上の県名をすべて答えなさい。 □()

- (3) 資料Ⅰを見て、中国・四国地方の人口密度の分布の特徴を、「瀬戸内海」の語句を用いて、簡単に説明しなさい。

□()



- (4) 資料Ⅱは、中国・四国地方の県別高齢化率を示している。次の表と資料Ⅱの凡例を参考に、資料Ⅱを完成させなさい。

□

県	鳥取	島根	岡山	広島	山口	香川	徳島	愛媛	高知
(%)	33.1	34.7	30.8	29.9	35.2	32.4	35.0	33.9	36.1

(2022年)

(2024年版「データでみる県勢」)